

2024年 4月 6日

関係所属団体各位

第78回全日本体操団体選手権(2024年度)出場に関する確認事項

(公財) 日本体操協会
専務理事 西村賢二

第78回全日本体操団体選手権(以下、全日本団体)大会における出場チーム・選手登録について下記の通り適用しますのでお知らせいたします。なお、全日本団体の出場選手の考え方は2022年に通達した内容を踏襲するものであります。

男子団体出場チーム数は、前年より2チーム削減しました。一方、種目別選手権予選出場者数を例年より増加しました。このため、より多くの所属の選手が競技会に出場できるようになったと考えています。また、大会会場(本会場や練習会場)のキャパシティを考慮し、選手が安全に競技や練習に臨めるよう配慮した対応です。ご理解の上、ご了承いただきたいと存じます。

1. 全日本団体への上場権について

男子 14チーム

- ①「全日本学生体操競技選手権(全日本インカレ1部・2部)」および「全日本シニア体操競技選手権(全日本シニア1部)」におけるチーム得点順 11チーム
 - * 大会結果とは別に6-6-4で通過順位を決定する
- ② 全国高等学校体操競技選手権大会(インターハイ) 1チーム
- ③ 全日本ジュニア体操競技選手権大会(全日本ジュニア) 1チーム
- ④ ジュニアナショナル選手を対象とする選抜チーム 1チーム

女子16チーム

- ①「全日本ジュニア体操競技選手権(全日本ジュニア1部)」、「全日本学生体操競技選手権(全日本インカレ1部・2部)」および「全日本シニア体操競技選手権(全日本シニア1部)」におけるチーム得点順 15チーム
 - * 大会結果とは別に6-6-4で通過順位を決定する
- ② ジュニアナショナル選手を対象とする選抜チーム 1チーム
 - * ジュニア選抜チームが編成できない場合、①の16位のチームに出場権を与える

2. 全日本団体への上場選手について

本会に登録した「所属団体」が同一であれば、当該所属団体が全日本団体への上場権を獲得した場合、それぞれ年齢区分の異なる大会に出場していたとしても同一チームの一員として全日本団体に出場できるものとする。

年齢区分のない民間クラブとして所属団体したチームに選手登録すれば、ジュニア、インカレ、シニアの年齢区分の異なる大会に出場したとしても全日本団体に出場資格を得た同一チームで出場することができる。

3. 全日本団体出場権を獲得したチーム名を全日本団体において変更する件

出場資格を獲得したチーム名での出場を原則とする。ただし、チーム名を変更することで補助金をえられるなど、特段の理由がある場合、男女強化本部に申請し、承認を受ければ変更できるものとする。

4. その他

上記取り決め以外の内容に関しては、各強化本部に問い合わせ、確認することができる。

以上